

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【総合的な学習の時間 4年生 6月21日(水)】

「海のめぐみ カキ」という単元でカキ学習を行います。マルムラ美野水産に牡蠣のたねつけの様子を見学させていただきました。

まず、実際に美野水産の社長さんの船に乗せていただいて、カキの赤ちゃんのたねを育てている場所に向かいました。外国からの研修生もおられ、活気のある現場でした。



1つの筏にカキの赤ちゃんをホタテ貝につけて10メートルの長さのワイヤーに吊り下げること、1本に34枚から35枚のホタテ貝がいること、カキ筏におよそ100本の竹がいること、カキはお母さんからお父さんに変身すること、冬が1番おいしくてお父さんにな

っていること、今は小さいけれどみんなお母さんだということ、木谷小学校の沖は最もカキが育つのに良い環境であることなど教えてくださいました。また、たくさんの工夫や苦勞や頑張られたことなどをも話してくださいました。

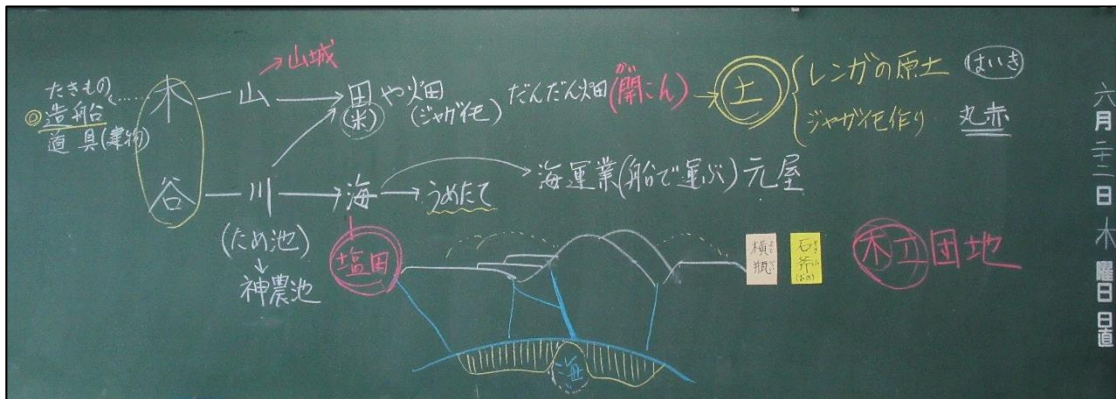


寒くなるとカキ打ち体験をさせていただきます。とても楽しみです。4年生の児童たちは、「カキ新聞」で各自の学びをまとめていきます。これを掲示するのも楽しみです。

学校においでになられたときにごらんくださいね。



【木谷の歴史学習 植野洋文さん 6月22日(木)】



3時間目に、ゲストティーチャーの植野洋文さんから「木谷の歴史」について学習しました。「なぜ、木谷という名前がついているのか。」という発問からスタートされました。「木」や「谷」の意味や役割を黒板に書かれながら、木谷の変遷の様子をモニターを使って説明してくださいました。元屋さんがあった場所や木谷小学校の講堂や1階だった校舎や線路や国道の出来上がる様子にびっくりしたりうなずいたりして真剣にお話を聞くことができました。自分たちの身近なことに関係したことに反応が大きかったです。なぜ、塩づくりから煉瓦の製造になったのか？なぜ、姿を消したのか？なぜ？という疑問がわいてきました。たくさんの「？」が出てくるといいなあと思いました。おうちの方で昔の木谷の様子をご存じの方は、お家の方でも話していただけるとうれしいです。

